



## 災害ごみ処理連携強化意欲

### 環境相と防衛相が長野視察

小泉進次郎環境相と河野太郎防衛相は3日、台風19号で大きな被害が出た長野市を訪れ、避難所や災害ごみの仮置き場を視察した。両氏は災害ごみの処理を巡り、環境省、防衛省の連携が強化されてい

ると説明。河野氏は視察後の記者会見で「環境省、自衛隊、自治体、ボランティアに任せき場を視察した。両氏は災害ごみの処理を巡り、環境省、防衛省の連携が強化され段階になつたのではないか」と述べ、両省の平時からの連携強化にも意欲を示した。

環境省、防衛省によると、災害廃棄物の処理で両省が協力するのは2016年の熊本地震、昨年の西日本豪雨に続き3回目。長野市東北部では、地域のあちこちにまとめて置かれたごみをボランティアが日中に2カ所の集積場に集約し、夜間に自衛隊が市の仮置き場に搬出する取り組みを実施。清掃事業者や広域的な処理の調整を環境省が担つた。今回の連携を関係者は「One Nagano(ワン・ナガノ)」と呼んでいる。



災害ごみの仮置き場を視察する(手前右から)河野防衛相と小泉環境相=3日午後2時34分、長野市豊野町

小泉氏は記者会見で両省の連携について「新たなステージに向けていきたい」と発言。ワン・ナガノについては「象徴的な取り組みで、今後の先進事例としてヒントをもらつた。今後につなげる検討をしたい」と述べた。

阿部守一知事はこの日、市町村に対する災害廃棄物処理

の国補助率をかさ上げするよう小泉氏に要望。小泉氏は「自治体の負担が大変苦しいという声があるのは承知している」とするにとどめた。





### 泥だらけ

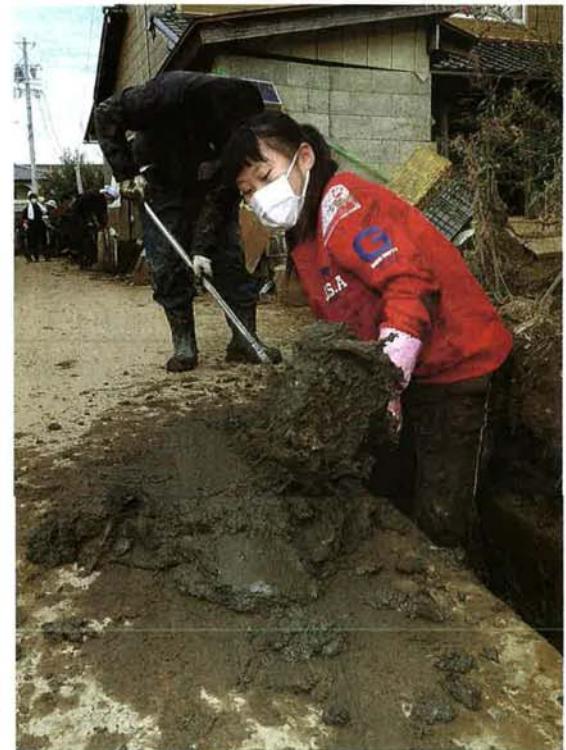
全身泥だらけになり、座って休憩するボランティア  
=3日午後1時45分、長野市津野



運び出す 災害ごみの運び出しに奔走するボランティアの軽トラック=3日午後3時9分、長野市赤沼



活動先に向かうボランティアの列=3日午前10時50分、長野市津野



### 被災地の復興へ奮闘

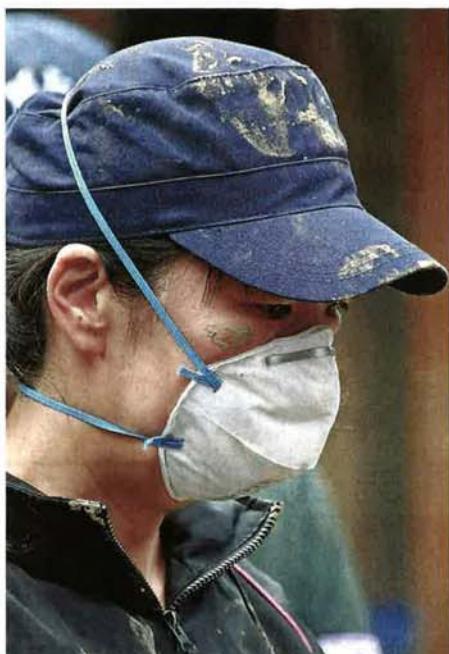
長野市 3日のボランティア最多357人  
長野市に駆け付けたボランティアは357人  
8人以上、台風で被害が出て以降、最多  
となつた。県社会福祉協議会によると、前  
日の2300人から1200人余増え、こ  
れまでの最多だった10月20日の3039人

### 片付ける

倒れたブロック塀を片付け  
るボランティア=3日午後  
1時58分、長野市津野



ボランティア(左)に具だくさんの温かいみそ汁を振る舞った市民有志の炊き出しが3日午後1時35分、長野市穂保



3連休末日の3日、台風19号の被災地  
も超えた。ボランティアは住宅や農園に  
り込んだ泥をかき出し、水没した家屋を搬  
出して汗を流した。県協は「泥だらけ雪  
が降る前に抜けないと大変。平日を含め  
今後も力添えを頂きたい」としている。

かき出す 側溝にたまつた泥をかき出すボランティアの中学生=3日午後1時18分、長野市津野

### 感謝の言葉

ボランティアへの感謝の言葉を近くの男性が書き込んだ看板。男性は「一生懸命やってくれるボランティアの人々に感謝しかない」=2日午後1時14分、長野市穂保



顔や帽子にも泥を付着させながら活動に集中するボランティア=3日午後2時42分、長野市津野



災害情報誌著者に「災害の社会心理」など。  
1975年、新潟市生まれ。専門は

### 台風19号 通過後の防災対応に課題残す

関谷直也・東大准教授に聞く  
【甚大な被害が出た台風19号】  
気象庁は上陸前の早い段階から警戒を呼び掛けた。上陸前日、伊豆をはじめ静岡県や関東の被害が大きそうといふイメージにつながり、台風がこれらの地域を通過した後の防災対応に課題を残した。進路を見れば東北に影響が及ぶことはあり得る。そこで、メテイアも含めて情報発信が不十分だったと思う。

【氣象庁は1958年に千人以上の犠牲者を出した「狩野川台風」に匹敵する恐れがあると表現したが、これが適切だったか気になっている。伊豆をはじめ静岡県や関東の被害が大きそうといふイメージにつながり、台風がこれらの地域を通過した後の防災対応に課題を残した。進路を見れば東北に影響が及ぶことはあり得る。そこで、メテイアも含めて情報発信が不十分だったと思う。

【以前の台風を知らない。受け手の了解がない情報で良かつたのか、考えないといけない。台風19号の災害が広域に同時に多発したという点は昨年の西日本豪雨と似ている。千曲川や阿武隈川の支川との合流点など過去

### 個別の河川情報 丁寧に伝える姿勢重要

大雨・洪水の警戒レベルが導入された今年は「全員避難」という表現が増えたが、妥当かどうかは可能なのだから、個別の河川の情報を避難情報と結びつけて丁寧に伝えいく姿勢が重要だ。大雨・洪水の警戒レベルが導入された今年は「全員避難」という表現が増えたが、妥当かどうかは可能なのだから、個別の河川の情報を避難情報と結びつけて丁寧に伝えいく姿勢が重要だ。大雨・洪水の警戒レベルが導入された今年は「全員避難」という表現が増えたが、妥当かどうかは可能なのだから、個別の河川の情報を避難情報と結びつけて丁寧に伝えいく姿勢が重要だ。大雨・洪水の警戒レベルが導入された今年は「全員避難」という表現が増えたが、妥当かどうかは可能なのだから、個別の河川の情報を避難情報と結びつけて丁寧に伝えいく姿勢が重要だ。

大雨・洪水の警戒レベルが導入された今年は「全員避難」という表現が増えたが、妥当かどうかは可能なのだから、個別の河川の情報を避難情報と結びつけて丁寧に伝えいく姿勢が重要だ。大雨・洪水の警戒レベルが導入された今年は「全員避難」という表現が増えたが、妥当かどうかは可能なのだから、個別の河川の情報を避難情報と結びつけて丁寧に伝えいく姿勢が重要だ。



全国行方不明6人に  
台風19号の被害は、共同通信の集計で3日までに死者は13都県89人、災害関連死を1369人が避難所での生活を余儀なくされている。総務省消防庁によると、確認された住宅被害は8万棟余り。内訳は金沢が16都県7534棟、一部損壊が27都道府県7540棟。床上浸水は17都県3万2千31棟、床下浸水は20都県3万6千49棟。国土交通省によると、土砂災害は20都県で798件が確認され、堤防の決壊は7県の71河川140カ所。

台風19号の被害は、共同通信の集計で3日までに死者は13都県89人、災害関連死を1369人が避難所での生活を余儀なくされている。総務省消防庁によると、確認された住宅被害は8万棟余り。内訳は金沢が16都県7534棟、一部損壊が27都道府県7540棟。床上浸水は17都県3万2千31棟、床下浸水は20都県3万6千49棟。国土交通省によると、土砂災害は20都県で798件が確認され、堤防の決壊は7県の71河川140カ所。